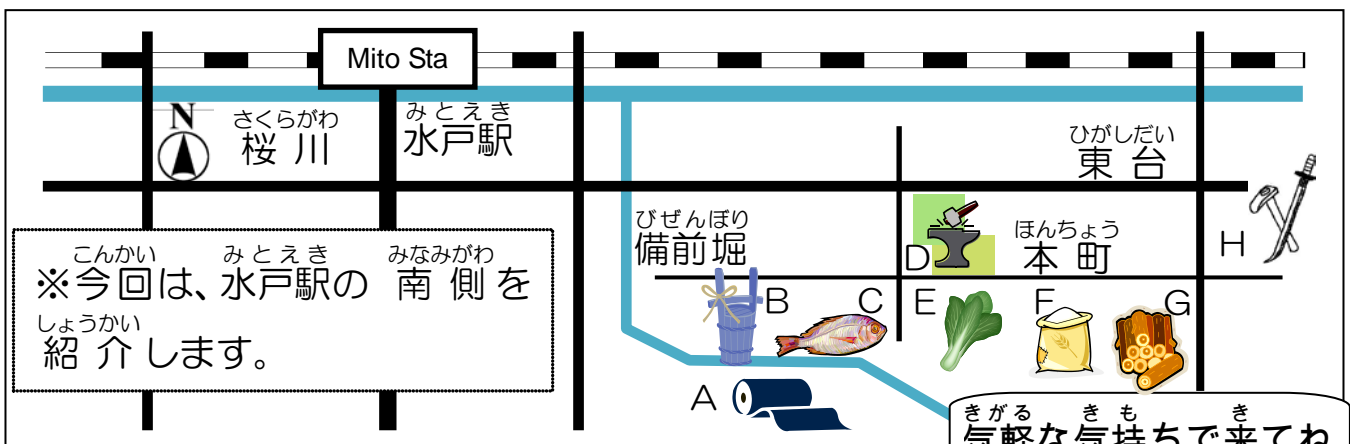


きゅうちょうめい むかし ちめい
 ~旧町名(昔の地名)②~

みとしない きゅうちょうめい す ひと しょくぎょう
 水戸市内の旧町名には、そこに住んでいた人たちの職業がわかる
 ちょうめい えどじだい ねん みと ひと
 町名があります。江戸時代(1603~1868年)、水戸にはどのような人たちが
 す
 住んでいたのでしょうか? [#1 = 一丁目、#2 = 二丁目、#3 = 三丁目]

| むかし 昔 | いま 今 | す ひと 住んでいた人 |
|------------------|--------------------------|---|
| A 紺屋町 こんやちょう | ほんちょう 本町#1、#2 | そめものや こんや 染物屋(紺屋)がありました |
| B 檜物町 ひものちょう | ほんちょう 本町#1、#2 | き さいく ひもの しょくにん 木の細工(檜物)の職人がいました |
| C 肴町 さかなまち | ほんちょう 本町#2 | さかな しょうにん 魚の商人がいました |
| D 白銀町 しろがねちょう | ほんちょう ひがしだい 本町#3、東台#1 | きん ぎん さいく しょくにん 金や銀の細工の職人がいました |
| E 青物町 あおもちょう | ほんちょう 本町#3 | やさい しょうにん あおもちょう やさい 野菜の商人がいました(青物=野菜) |
| F 塩町 しおちょう | ほんちょう 本町#3 | しお しょうにん 塩の商人がいました |
| G 材木町 ざいもくちょう | ほんちょう 本町#3 | ざいもく しょうにん 材木の商人がいました |
| H 鍛冶町 かじちょう | ひがしだい ほんちょう 東台#2、本町#3 | きんそく どうぐ つく しょくにん かじや 金属で道具を作る職人(鍛冶屋)がいました |

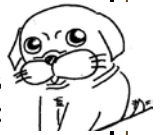
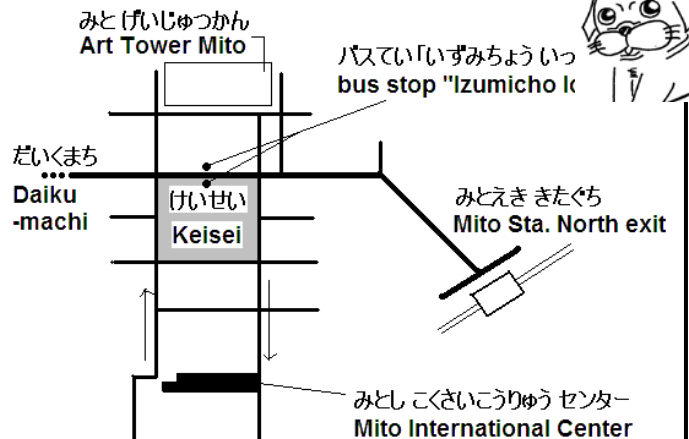


こうえきさいだんほうじん みとしこくさいこうりゅうきょうかい
 公益財団法人 水戸市国際交流協会(MCIA)

かようび にちようび
 火曜日~日曜日 9am - 9pm
 やす げつよう がつ にち か
 (休み: 月曜、8月11日~24日、
 9月17日、24日)

Add 〒310-0024 水戸市 備前町 6-59
 Tel 029-221-1800 Fax 029-221-5793
 mail mcia@mito.ne.jp
 HP http://www.mitoic.or.jp

ご意見・ご要望、お待ちしております!





Culture Pot MITO

CONTENTS

イベント

- ・あおぞらクラフトいちこくさいこうりゅう
- ・国際交流パーティー
- ・灯籠流し

せいかつ

- ・台風対策
- ・熱中症の予防

とくしゅう

- ・浴衣を着る

みとさんさく

- ・旧町名(昔の地名)②

チラシ

- ・茨城県の花火大会

▼写真：水戸市国際交流協会の姉妹都市交流などが評価され、「総務大臣賞」を受賞しました。(第7回自治体国際交流表彰)



水戸市国際交流協会では、水戸市に住む外国人の方にわかりやすい生活情報をとどけるため、2か月に一度、生活情報紙「Culture Pot Mito」を作っています。「Culture Pot Mito」は、水戸市をひとつのpot(つぼ)に例えて、その中にたくさんのculture(文化)が入っているような、多文化共生の社会をイメージした言葉です。この情報紙が、みなさんの生活で役に立ち、水戸市をもっと好きになるきっかけになることを願っています。

※ 多文化共生の社会 = 国・言葉・文化のちがう人たちがみんなが住みやすい社会